

2011年3月期
業績を発表

日立が過去最高益を更新

日立の連結業績

	2010年3月期	2011年3月期	前期比
売上高	8兆9,685億円	9兆3,158億円	104%
営業利益	2,021億円	4,445億円	+2,423億円
税引前純利益	635億円	4,322億円	+3,686億円
当期純利益	△1,069億円	2,388億円	+3,458億円

従業員数と関連子会社数

	2010年3月期末	2011年3月期末
従業員数(人)	359,746	361,745
国内	230,948	216,393
海外	128,798	145,352
連結子会社数	900	913
国内	365	351
海外	535	562

日立の連結内部留保 (単位:百万円)

	2010年3月期末	2011年3月期末	増減
資本剰余金	620,577	603,133	△17,444
利益剰余金	713,479	922,036	208,557
合計	1,334,056	1,525,169	191,113

5月11日に日立は2011年3月期の連結決算を発表しました。売上高は9兆3,158億円、営業利益は4,445億円、当期純利益は2,388億円でした。当期純利益は、1990年度に記録した2,301億円を超え、過去最高益です。

東日本大震災の影響で、750億円の純利益の減益要因となったが、構造改革によるコスト体質強化の効果が、社会インフラ関連需要増で計画以上の利益を達成できたといえます。

内部留保はこの1年で、1,911億円積み増ししています。

国内の雇用は激減！

一方で、国内従業員数はこの1年で、14,555人も減少、国内子会社数も14社減少しており、グローバル

バル経営の加速により、国内工場の閉鎖、リストラなどで国内雇用が激減しています。

(以下は、会社発表の業績ハイライトより)

○売上高
東日本大震災の影響を受けたものの、エレクトロニクスや自動車分野の需要回復に伴い前期を上回った。

○営業利益
営業利益4,000億円超は、1990年度以来。

事業構造改革の進展、資材費削減やプロジェクト管理強化等により前期を上回った。

○営業外利益
IP Sアルファテクノロジに関する経営権の譲渡等による有価証券売却を計上。持分法損益の改善。

○当期純利益
過去最高益を更新



過去最高益の裏側では…

◇ルネサスエレが早期退職募集

ルネサスエレクトロニクスが早期退職募集。想定1,200名で「勤続5年以上&40歳以上&会社承認」が基準。1,487人が3月末で退職。

◇(日立超L)でリストラ

リーマンショック後の業績悪化に伴い早期退職の実施、事業所の閉鎖・縮小、賃金カットなどを実施。

◇日立GSTのHDD事業を売却

2003年に約2,500億円を投じて米IBMから買収したHDD事業を米ウエスタン・デジタル(WD)社に売却する。売却額は約43億ドル(約3,500億円)。

◇日立オムロンで生産部門のリストラ

日立Ase(HOTS子会社)とIEメカ(IEシステム子会社)と(HOTS)製造部門の3社を吸収分割合併して新会社発足。

◇東海テック(ひたちなか市)解散へ

経営効率化のため、2012年3月31日に解散させる。従業員380人は、別の日立グループ会社へ配置転換、転籍する予定。

日立懇 <発行>2011年5月号
<日立・勝田地区版>

日立関連労働者懇談会

★連絡先(茨城)090-8747-6239(馬場)

http://www.hitachikon.net
Eメール info@hitachikon.net

福島第一原発の重大事故に思う

▼3月11日地震発生、福島第一原発緊急停止、夜の森線の受電鉄塔1基が倒壊、津波で非常用ディーゼル発電機が停止して全電源喪失、爆発。(原発は停止していても冷却していなければならず、全電源喪失で16・5時間後には格納容器が熱で破損すると指摘されていた)▼以前から国会などで全電源喪失の危険性が指摘されてきたが、東電、国は「日本では起こりえない」としてきた▼平安時代の869年(貞観(じょうがん)11年)三陸沖で地震が起き津波が発生、多賀城下一千人が溺死した。「産業技術総合研究所」活断層・地震研究センターでは04年から5年間、石巻から福島県中部までボーリング調査・研究をして海岸から2〜4kmまで砂が運ばれていることを発表。岡村行信センター長は09年、経済産業省で福島第一原発の耐震設計見直し案の審議会で東電の想定より大きい津波がきていると見直しを繰り返し主張したが無視されきた。▼原発の安全性を優先するのではなく、少ない費用での効率・利益を優先させてきた結果だと思う。今こそ安全確保のために政府、電力会社、原発メーカーの姿勢転換が求められていると思う。



地震後の休業と残業なしで、厳しい生活

3〜4月は期末と残作業で相当残業ができるが見込んでいたが地震発生後、休業になり、その後の仕事が薄く3、4月は残業が少なかつたので4月の給料明細を見てガツクリ。日立の賃金の低さを痛感したのはオレ一人でなそうである。休業や前倒しの年休で出費は増えたが収入が少ないので切り詰めた生活になった。(国分)

もらえるので勿論ありがたいですが

東日本大震災の被災に對して会社から「被災地域居住者見舞金」が支給されるという通達

があり、ありがたいと思つた。茨城県、福島県居住者は全員対象です。支給額は、所員は1万円で、嘱託、シニア所員は半額の5千円。シニア社員は「もらえるので勿論ありがたいけど、震災による休業手当も所員は75%支給で、シニア所員は60%支給だった。給料も現役の半分以下だし、半人前扱いなあ」。(大みか)

震災と原発事故の危機管理を

危機管理が話題となるなか「大地震の日、2時間以上も外に立ったまま情報もなく不安だった」「雨・雪が降っていたら最悪だった。対応を考えてほしい」「電源を確保して構内放送等で従業員に情報が伝達されるような体制にして欲しい」先の見えない原発事故

に「東海原発で同じ事故になったら、30km圏内に百万人も住んでいるとの事、ゾツとしてしまう」「放射能は見えないので、各家庭にも放射能測定器を配布して欲しい」「工場内にも測定器を設置して情報を開示してほしい」(AEパワー)

不安は俺たちだつて同じです！

東日本大震災にともなう福島原発事故の影響で顧客から、納入製品の放射性物質の汚染を心配して放射線測定実施の依頼があり、出荷製品に対して放射線測定を実施することになったと説明があつた。「製品の心配は分かるが、働いている俺たちだって不安だ。職場に放射線量測定器を設置してほしい」。(大みか)

5月連休が4日間も振替出勤となつて

「連休が台無しの上、公出じゃないので残業手当もつかない。」「一部門だけの振替出勤ならば、公休出勤でも対応できたはず」「最近はやりに計画されているような気がする。」(AEパワー)

震災復興の決起集会？

連合日立地区リーダーは自粛ムードもあつて、参加目標二千五百名に對して、式典会場には千五百名程度でした。式典全体が「市長、市議、勤労者が力を合わせて日立市を復興しよう」という、日立復興の決起集会の雰囲気、労働者の祭典メーデーとしては違和感ありまし

